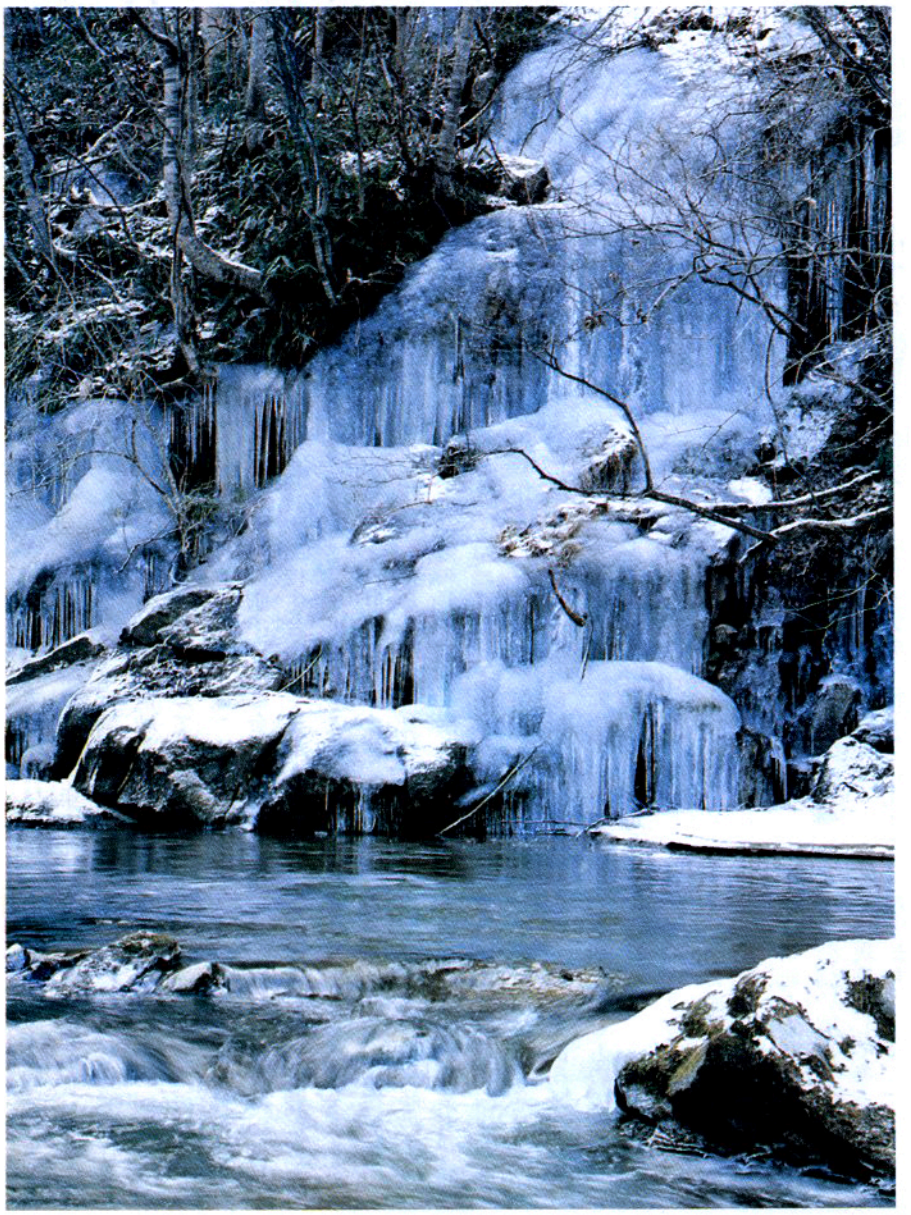
広報
さめがわ
昭和63年
1月号
No. 409
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



冬の江竜田の滝は、いたるところで氷の世界が見られる。
その美しさを醸し出す自然には、偉大なものを感じる。

あけまして おめでとうございます

昭和六十三年元旦

1月6日　消防団出初式
1月15日　鮫川村成人式
1月26日　文化財防火デー

今月の人口

（12月25日現在）

		前月比
人口	5,461	（＋13）
男	2,688	（±0）
女	2,773	（＋13）
世帯数	1,135	（＋1）

山村留学施設「竹飛歩学園」
青少年の家に開設準備

恵まれた自然環境のもとに、都会の子供たちを受け入れ、共同生活をしながら村の学校に通う山村留学施設「竹飛歩学園」が、開設準備のため青少年の家に移り住みました。

開設を進めているのは、学習院大学を卒業し、今年の九月まで静岡県浜岡町の「ねむの木学園」（宮城まり子理事長）で教諭をしていた清水国明さん（三十歳）ら三人です。

計画では、都会の小・中・高校生合わせて三十人程度を受け入れ、学園内（青少年の家）で共同生活をしながら村内の学校に通学。学園行事の体験農場、小動物飼育、山菜とり、みそ・漬物づくり、キャンプ、スキーや村の行事等にも参加し、恵まれた自然の生活体験を通して豊かな人間を形成しようというもの。入園期間は一年単位。

村でも、健全な青少年を育成し、教育の向上と都市と地域との交流活性化のため、積極的に協力して行くことにしています。村民の皆さんのご協力をお願いいたします。



年頭のごあいさつ

鮫川村長　芳賀　文雄

昭和六十三年の年頭にあたり、今年もまた皆様の上に健康と幸せが、豊かに訪れますことをお祈りいたします。

私が村政を担当して八カ月を経過しましたが、昭和六十二年度に計画されました施策、事業につきましては、村議会をはじめ村民皆様のご協力により、順調に進捗しておりますことに対し、衷心より感謝を申し上げる次第であります。

さて、昨年わが村の農業は、天候に恵まれ、水稲は平年を上回る作柄となり、また、肉用牛も春から価格が高値で取引され、そ菜の出荷も順調に進みました。

しかし、昨年からスタートしました水田農業確立対策につきましては、米の需給調整と食管制度維持のため、止むを得ないこととは申せ、農家の皆様の並々ならぬご協力とご理解により、水田転作の目標面積を達成できましたことは、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

これからの農業は、国民の食糧を安定的に供給するほか、消費者の好む農産物を需要に合せた生産をするなど、計画的な農業経営が必要であり、鮫川村の気候や立地条件を生かした複合的な営農団地をつくり、他の産地に打ち勝つことが肝要であります。

特に、本村の夏秋トマトは他の産地よりも優れ、生産を始めてから十年余りで、四十三戸の農家が作付し、その出荷額は一億円を超え、そのほとんどが水田転作で、十アール当りの平均出荷額は百九十万円となり、水稲の十倍以上の収入となっております。

現在、農業を取りまく環境は依然として厳しく、いろいろな問題がありますが、地域ぐるみで時代に即応した農業構造に改善することが重要であり、農業生産基盤の整備、農地の流動化、中核農家の規模拡大、農業生産の担い手の育成など、農業者、農業団体及び行政が一体となって、わが村の農業振興のため、たゆまざる努力と協力を切に望むものであります。

このような情勢下において、村は長期振興計画、過疎地域振興計画及び新林構事業計画などによる諸事業を、皆様のご協力を得ながら逐次実施して参る所存であります。

今年もまた困難な情勢に屈することなく、活力ある村づくりのため、村民皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたしまして、新年のごあいさつといたします。

一生懸命頑張ります



はじめまして。竹飛歩学園と申します。山村留学の学園をはじめるチャンスをいただきました。とにかく鮫川村が大好きです。豊かな自然のうるおい、皆様の心のぬくもり。健全に子どもたちが育ってゆける素敵な環境と確信しております。ふつつかな私達ですが一生懸命頑張りますので、どうぞ末永くよろしくお願いいたします。







年頭のごあいさつ

鮫川村議会議長　蛭田　一

昭和六十三年の年頭にあたり、村議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。ここに輝ける新春を迎え、村民皆々様と共に新年を寿ぎ、併せて鮫川村の繁栄をお祝いできますことは、御同慶にたえないところであります。

私は昨年五月、村議会選挙後招集された村議会において議長に就任いたしました。その後、議会の円満な運営と村政の伸展を第一として、村民の声を村政に反映するよう誠心誠意努力してまいり、お陰をもちまして大過なく越年することができました。これひとえに、皆様の御支援と御協力のたまものと心から感謝申し上げます。

さて昨年は、米作は豊作だったとは言え水田減反面積の増、渡瀬地内の山林大火災、こんにゃく価格の異常な低落等、農林家にとっては厳しい年でありましたが、一方肉用牛、水田転作の夏秋トマトなどの価格が良く、一縷の望みを与えてくれました。村においても、国県の財政再建対策の影響を受けながらも、振興計画に基づく各事業が皆様のご協力のもとに逐次進められております。

ことは、御同慶にたえないところであります。

しかしながら、村民の福祉を増進し生活の安定を図るには、なお重要な問題が山積しています。その解決を図ることは、直接村政に参画し審議をする我々に課せられた責務であり、国県の施策と相まって村財政の範囲内において最大の効果が上がるよう努力する覚悟であります。

昭和六十三年も、財政事情は更に厳しい年であると予想されますが、村政全般にわたり内容充実のため最大の努力を傾注する所存でありますので、村民皆々様の倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

人工芝ゲートボール場
旧鮫高体育館に完成

伏木田地内の旧東白農商高校鮫川分校体育館に屋内人工芝ゲートボール場が完成し、十二月十九日オープンしました。

この施設は、自治総合センターが宝くじの普及広報を図るため実施しているコミュニティ助成事業で行われたもので、事業費は二百万円。このうち百九十万円が助成され、人工芝三三〇㎡（15メートル×20メートル）が設置されました。

この施設は冬期間の健康増進として、ゲートボールのほかグラウンドゴルフ等にも利用できますので、お気軽にご利用ください。

使用方法

利用については、申請書により申込みしてください。申請書は農業者トレーニングセンターに準備してあります。ゲートボール場入口の錠は、管理員藤田正美宅（道少田）で保管してあります。

なお屋内ゲートボール場の使用について、村老人クラブ連合会で協議の結果次のようになっています。

▽月曜日　西野支部
▽火曜日　西山支部
▽水曜日　東石支部
▽木曜日　富田支部
▽金曜日　渡瀬支部
▽土曜日　青生野支部
▽日曜日　中野支部

グラウンドゴルフ競技用具も取りそろえてありますので冬の健康管理に、レクリエションに、大いに活用してください。

▲開館のテープカット㊤とグラウンドゴルフを楽しむ議員さんと区長さんチーム㊦

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた昭和63年がいよいよスタートしました。
そこで、今年のエト「辰年」生まれの方々に「今年の抱負」を執筆していただきました。

■われら辰年生まれ
「今年の抱負」

今年は辰年



辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。ある動物図鑑を見ると、辰は竜として載っていました。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。

伝説の竜は、中国や日本だけでなく、同じようなものがヨーロッパやインドなどにも見られます。どれも実在の動物を組み合わせたようなものですが、中国や日本の竜は蛇の胴に足をはやし、鬼の顔に鹿の角をつけたような動物です。

竜は諺(ことわざ)にもしばしば登場します。「竜吟ずれば雲起こる」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味で、英雄を竜にたとえているのです。

「竜の髭の玉を取る」は、難しいこと、危険なことのたとえ。また、「竜の髭を蟻がねらう」は身のほど知らずのたとえです。

このように竜は強いものとされていますが、「竜虎あい撃つ」ともいわれますから、竜と虎とは互角のようです。

◇　◇

さて、みなさんはこの新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものですね。

人生泣き笑い



関口耕地　藤田　敏江（昭和27年生）

明けましておめでとうございます。

月日の立つのは早いもので、もう三十六歳、年女。人生の三分の一を過ごしてきたわけです。今までを振り返ると多忙すぎた毎日で、周りのことなど見つめていた余裕があまりにも少なかったような気がしてなりません。

土とは縁がないと思っていたのが、いつの間にか農家に嫁つぎ、三人の母親になりました。農家に嫁ついでも今は兼業が多く、私も会社に勤めています。子供が小さく、熱が出ては会社を休み、用事があるといっては保育所に遅くまで預かってもらいと、迷惑の断えない日々でした。

病気がちな二番目も一年生、三番目も幼稚園に入り、少しは楽になるかと思ってはいるのですが……。今まで忙し過ぎた日々を取り戻すことはできませんが、それなりに泣き笑いの思い出はあるだろうし……。

年女にあたり、自分に充実した生活ができ、自分をよくみつめ、子供の成長を見守りながら夫と共に働く喜びを分かち合い、この一年が素晴らしい年であるよう、心がけて頑張って行きたいと思います。





楢久保　森　芳子

（昭和３年生）

田畑を守って行きたい

明けましておめでとうございます。今年は、私達が年女であると同時に、人生の一つの節目でもある還暦を迎える年にもなってしまいました。今、還暦と言っても、どうもピンときませんが、戦前、戦中、戦後と生きてきた私達の人生、長かったような、短かかったような複雑な心境です。

今日の農業情勢は、ますます悪くなるとも良くはならない現状ですが、農業一筋に生きてきた私には、やはり体の続く限り田畑を守って行きたい。また、暇をみつけて頭の体操に本も読みたい。好きな花をたくさん作って楽しみたい。時には若い人達に交じり年令を考えずに働くこともまた楽し。どうも欲張りな一年の抱負になりそうです。

それには、まず一に健康、二に健康。皆様と共に助け合いながら精いっぱい生きて、自分なりに悔のない一年を送りたいと思います。皆様の御多幸をお祈りいたします。



彦次郎　青戸　テル

（大正５年生）

仲間の和を大事にしたい

新年おめでとうございます。私は今年六回目の辰年を迎える年女でございます。

静かに我が人生を振り返り、戦争中の食料難、物資難、そして労動力の少なく機械化の進まない時代の我が家の農業経営は、沢して楽ではありませんでした。昔の言葉をかりると「朝に星を抱き、夕に星を抱き」の農作業が何年か続きました。

しかし今の恵まれた福祉社会に出会い、私は幸せいっぱいでございます。昨年は金婚賞を戴き、いつまでもお幸せにと皆さんから祝福され、心から身にしみております。

今年は辰年にちなみ、元気一ぱい沢山健康菜を食卓におくり、家族の健康管理に役立てたいと思います。

更に社会学級、ゲートボールなどスポーツにも努めて参加し、老人ボケ防止、そして仲間の和を大事に考えてゆきたいと思う今日このごろでございます。



富田小　青戸　功次

（昭和51年生）

星座の伝説をまとめたい

今年は「たつ年」ぼくの年です。なにごとにも力いっぱいがんばろうと思います。

特にがんばることが四つあります。

一つは、社会のできごとに関心をもち、知しきをふやして、人に話せるようになることです。

二つめは、ぼくのすきな星座の強勉をすることです。星や星座の本はとてもすきですが、もっとくわしく調べて、星座の伝説をまとめてみようと思います。

三つめは、授業中、先生のお話をしっかり聞くことと、自分の考えをはっきり発表することです。

四つめは、ソフトボールの練習をしっかりがんばり、夏の大会にゆう勝することです。

小学校最後の年です。たつ年です。しっかりがんばろうと思います。





鬼越　円谷　実

（昭和27年生）

村民の１人として

年月の過ぎるのは早いもので、つい最近、成人を迎えたばかりと思っていたら、もう一人前の口をきく三回目の年男を迎えました。

毎年、年頭にあたり今年こそはと心に誓うことがありますが、実現、実行は……？

今年の抱負はと問われ、数ある中から「青少年の健全育成」に取り組んでみたいと思います。四年前からこの仕事に従事し、今一番燃えています。二十一世紀を担う青少年が、豊かな創造性や自主性をもち、心身共に健やかに成長することが、村民全ての願いであると思います。

青少年の健やかな成長を願って、今年は、積極的な活動を展開していきたい。



酒垂　田子　陽子

（昭和15年生）

積極的に社会参加を

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、健やかに新年を迎られたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、社会的、経済的、政治的状況変化が厳しく、私達を取り巻く環境も目まぐるしい程の速さで変化しています。毎日のように、いろいろな事件がテレビ、新聞などで報道され、暗い事件の多い年であったことは言うまでもありません。

さて今年は「辰年」。私も四回目の辰年を迎えてしまいました。辰年の運勢は、気分的に現状の改革転換を試したくなる年回りとなっています。

主婦として、青少年健全育成を重点とした地域づくりのため、自主勉強を重ね地域の皆様との交流を図り、住み良い地域づくりに精いっぱい頑張っていきたいと思っております。





青生野小　金沢　豊子

（昭和51年生）

今年は、私の年なので、思い出のある年にしたいです。

背泳ぎで新記録を

いろいろなことに、がんばってみたいです。

勉強では、特に、算数をがんばってみたいです。その中でも、文章問題が解けるようにしたいと思います。毎日の予習、復習などを、かかさずやってみたいです。

スポーツでは、水泳をいっしょうけんめいがんばりたいと思います。そして、背泳ぎで新記録を出し、一位になりたいです。



生活面では、六年生として自分の目標をたて、下級生の見本になるようなことをしたいです。特に言葉づかいや、あいさつなどをきちんとしたいと思います。また、下級生のめんどうも見てあげたいです。

今年、小学生最後の年として、一年間くいのないように毎日すごしたいと思います。



大塩　水野志津子

（昭和39年生）

私は、今年三才になる男の子と、二才になる女の子の二児の母親です。

私が今年の抱負について考えましたことは、長男が今年三才になるにあたり、昔から「三つ子の魂百まで」という諺がありますように、子供にとって一番大切な時期にあたります。

子供の成長を見守りたい

私は勤めに出てる関係で、日中あまり子供と接する時間が短かいため、子供の生活行動をよく見ることができませんでした。今年は、なるべく子供と接する時間を多く取り時間があれば二人の子供の成長の記録をビデオや写真に撮り、残こして置きたいと思います。そして子供達の大切な時期を、家族全員で暖かく見守って行きたいと思います。



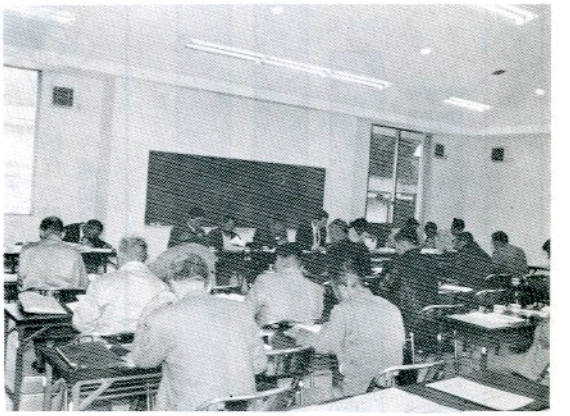
文化財を火災から守ろう

1月26日は文化財防火デーです。



林業経営、技術を学習

森林所有者らを対象に研修会



▲参加者から好評を得た研修会

村の総面積の七割を越える森林資源を活用するため、村では、林業経営や生産技術向上のための各種研修会を開催しています。棚倉林業事務所技術職員を講師に招き開催しているもので、森林所有者、しいたけ生産者等から好評を得ています。

十二月十七日の林業経営研修会では、木材流通センター及び森林組合の機能と役割、森林の多目的活用、施業技術の動向、村に適した特用林産物と生産のための条件等について研修しました。

また、十一月二十五日のしいたけ生産者経営及び生産技術向上検討会では、講師の助言指導を得ながら、しいたけ栽培上の技術的課題、しいたけ原木の確保等について検討しました。

特に、しいたけ原木については、村外流失が目立ち、手に入りにくくなっている現状が生産者から報告されました。

年末年始の犯罪防止

防犯連絡所懇談会開く

年末年始の防犯について協議する防犯連絡所懇談会が、十二月十六日午後一時半から山村開発センターで開かれました。

東白防連鮫川支部役員、防犯連絡所相談員ら四十人が出席し、まず、松崎支部長が「犯罪のない地域づくりに皆さんのご協力をお願いしたい」とあいさつ。緑川助役、蛭田議長の祝辞に続き、防犯映画「親たちのスクラム」が上映されました。

このあと、村内の事件事故の発生状況、年末年始の防犯運動について説明があり、村内での犯罪も八件発生していることなどが報告され、防犯を心に誓っていました。



▶山村開発センターで開かれた防犯連絡所懇談会

共同募金・歳末たすけあい募金

ありがとうございました



昭和六十二年度の共同募金歳末たすけあい募金は、皆様の温かなご協力により目標を上回って達成されました。

心から厚くお礼申し上げます。募金の額と使途区分は次のとおりです。

・募金総額　九二八、〇〇六円
　○共同募金（県募金会へ）
　　五六四、〇〇六円
　○歳末たすけあい募金
　　三〇六、〇〇〇円
　○堀川愛生園募金（堀川愛生園へ）五八、〇〇〇円

歳末たすけあい募金は、次のとおり越年見舞金として、差し上げました。

《居宅対象者》

種別	世帯数	対象者数	配分額
要保護世帯	21	34	80,000円

《施設等入所者》

種別	施設数	対象者数	配分額
精薄者施設	2	3	9,000円
精薄児施設	1	3	9,000
老人福祉施設	4	6	18,000
養護施設	1	1	3,000
救護施設	1	1	3,000
身障児施設	3	3	9,000
身障者施設	1	1	3,000
医療施設	10	28	84,000
小計	23	46	138,000
諸経費			15,600
合計	23	46	233,600

残金72,400円は緊急配分準備金に積立。

ご存じですか

国民健康保険制度

わたしたちは毎日元気に暮らしていても、ある日突然病気や思わぬケガをします。そういう、もしもの時に、だれでも安心してお医者さんにかかれるように、皆さんの収入に応じて日ごろからお金を出し合って、不時の医療費に備えておく制度が国民健康保険（国保）です。国保は相互扶助（助け合い）を目的としたとても大切な制度です。

ところが、最近の医療費の増加は、国保の運営を大変苦しくしています。お年寄りの医療費負担や、成人病などの慢性疾患で病院にかかる人が増えたことなどが原因だと考えられますが、ますます医療費は増える傾向にあります。



医療費が増えると国保税も増えます

このまま医療費が増えると国保の財政は苦しくなり、国の補助金が抑制されている現在は、結局増えた医療費分だけ国保税を引上げしなければなりません。

病気になったり、ケガをした時、お医者さんにかかるのは当然ですが、その場合でも心がまえや考え方で、医療費の節約ができます。次のようなことを心がけて、国保税引き上げ抑制にご協力ください。



国保税抑制 5つの心がまえ

その1 定期検診、早期発見、早期治療を

ふだん健康だと感じている時から、必ず定期健康検診をうけ、病気を早く発見し、早く治すことが大切です。

その2 お医者さんを信頼すること

むやみにお医者さんを変えたり、同じ病気で何人ものお医者さんにかかる人がいますが、検査や処置、注射、薬などをやり直すために、医療費のムダ使いになるばかりか、かえって病気を悪くします。

その3 できるだけ診療時間内に診てもらう

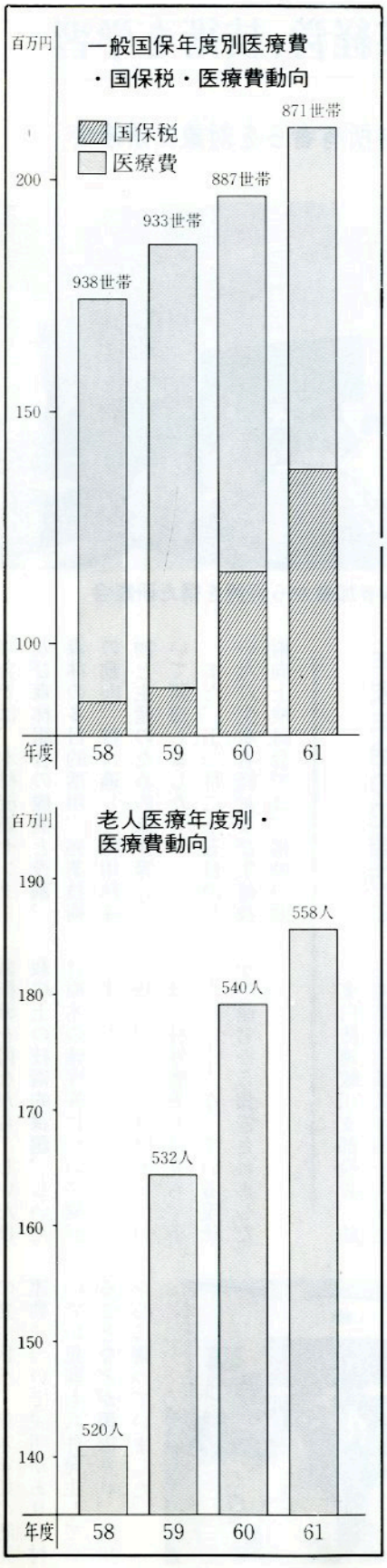
急病の場合はともかく、自分の都合で診療時間外にお医者さんに診てもらうのは避けましょう。

その4 初診のときは保険証を忘れない

保険証を提出しないと、全額自分で負担しなければなりません。必ず初診の時に提出しましょう。

その5 薬をたくさん期待しない

薬をむやみに欲しがることは、大切な医療費のムダ使いになります。



お元気ですか

保健婦ず

「カゼ」に負けるな

冬将軍の到来とともに、増えてくるのが「カゼ」です。私達は、一年のうち少なくとも一～二回はかぜをひきます。そして子供から大人まで全ての人を襲います。あなたは今、かぜをひいていませんか。

「カゼ」の原因

私達の上気道（鼻からのどにかけての部分）は、普通一定の温度と湿度が保たれていますが、冬になると暖房などで、外と家の中の温度と湿度が極端に違ってきます。そのため上気道のバランスがくずれ、くしゃみ、鼻水などのアレルギー反応を起こします。これがカゼのひきはじめの特徴です。

また、上気道の粘膜表面には、外気から運ばれた細菌が生息していますが、弱っている上気道では、その細菌に感染し、発熱などの本格的なカゼ症状を起こすことになります。

主な原因菌は、ウイルス性や細菌性のものがほとんどで、熱、頭痛、鼻汁、鼻づまり、咳、関節痛、だるさなどが主な症状です。

カゼをひいてしまったら

①静かに温かくして十分身体を休め、室内を乾燥させないよう注意しましょう。

②消化のよい温かい食事をとり、また脱水にならないよう水分を補給しましょう。

③タバコは、のどや気管支を刺激し、またオフロは体力を消耗させ、カゼの回復を妨げますから控えましょう。

カゼは軽いうちは早期に治せます。こじらせると肺炎になり、命とりにもなりかねません。細菌性のカゼは抗生剤で治りますが、ウイルス性はなかなか治りません。早目に医師に相談し、正しい処方を受けましょう。特に、子供は悪化してから気づきがちです。親が責任をもってみてあげましょう。

カゼを寄せ付けないために

○偏食をしない
○十分な睡眠をとる
○身体を鍛える
○厚着をしたり汗をかいたままにしない
○室内の換気は二時間ごとに
○うがいと手洗いは忘れずに



①月②月健康カレンダー

防接種予	健康診査					種別	実施日	対象者	受付時間	会場
三種混合ワクチン	1才6カ月児	3才児	乳児（10カ月）	乳児（7カ月）	4カ月児	4カ月児	1月13日(水)	62年9月生まれの者	午後1時～2時	棚倉保健所
1月6日(水)	2月24日(水)	2月24日(水)	2月23日(火)	1月26日(火)	2月10日(水)	62年10月生まれの者	午後1時～2時	棚倉保健所		
通知のあった者	61年6月～7月生まれの者	59年12月、60年1月生まれの者	62年4月、7月生まれの者	62年3月、6月生まれの者	62年9月生まれの者	62年10月生まれの者	午後1時15分～30分	山村開発センター		
村内6カ所で実施（必ず受けてください）	午後1時40分～50分	午後1時15分～25分	午後1時15分～30分	午後1時15分～30分	山村開発センター	山村開発センター				

※ 各健診には母子健康手帳を持参してください。

※ 詳しい日程等は別途通知しますが、変更する場合もありますのでご承知ください。



▲元気な子供たち

〝ピッカピッカ〟の1年生

昭和63年度新入学児童

今春四月、小学校に入学されるお子さんは、**昭和五十六年四月二日から昭和五十七年四月一日**までに生まれたお子さんです。

昭和六十二年十二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の八十四名です。名前が違っていたり、もれていましたら、一月二十五日までに学校教育課（電話四九－三一一五）に申し出てください。

昭和63年度新入学児童

（　）は保護者名

◆青生野小学校　4名

○菅野貴生（甲子夫）○平久江直美（和男）○岡部妙子（一良）○本多恵（勝之）

◆渡瀬小学校　13名

○蛭田紀幸（勝二）○芳賀初（元治）○山形孝将（賢一）○國井靖和（清敏）○藤田文（洋子）○藤田光江（俊一）○高久道恵（利道）○藤田理恵子（義人）○藤田則子（甫）○相原直美（源一郎）○芳賀瞳（誠一）○小松希代江（恵一）○菊地優子（吉雄）

◆富田小学校　4名

○大平信一（政信）○鷲野谷輝（重一）○本田栄子（之雄）○坂本由美子（重男）

◆西野小学校　18名

○須藤勝久（勝井）○須藤勇一（一美）○北條雄平（利雄）○佐藤賢二（恵一）○関根智（文子）○石井誠（みさ江）○須藤勝美（孝一）○佐藤智彦（文夫）○面川晃正（信和）○須藤絵美（恵子）○白坂幸子（利幸）○舟木真弓（久）○舟木瞳（二郎）○石井紀子（良夫）○石井正子（正一）○北條ひとみ（泰男）○鈴木愛美（新市）○西野久美子（信美）

◆西山小学校　14名

○本郷礼（正）○高野勝弥（長二）○國井博幸（秋好）○須

広報さめがわ
東京鮫川会だより

吾が里に偲ぶ

東京都世田谷区駒沢２の40の９

鈴木　一正

俺等商売上、お客から「主人の出身地は」とたびたび聞かれる。待ってましたとばかり「阿武隈山地の鮫川村です」と、役場から送付され店内掲示の写真（ふくしま緑の百景と竹飛歩学園）を得意気に指す。客は皆、注目の眼を注ぐ。何とも言えない誇り（優越感）だ。開発の進む昨今、昔と相変わらぬ自然に包まれる村と、在村の皆様が羨ましい。

それに反し、18年の間育ててくれた地〝鮫川村〟を、俺等あまりにも無知なのが腹だたしい思いでたまらない。一例を申しますと、地名（部落名）と場所が一致しないこともある。

そこで、子供達に俺等の二の舞を踏まさないよう、役場や小・中学校等で村内の地名はおろか、すべての行事を知っておいて欲しいのです。

すばらしい故郷よありがとう。

郷土鮫川村に乾杯！

東京都練馬区小竹町２の29

岡部　敬美

新年おめでとうございます。私、56歳。昭和26年１月７日、柳行李にたくさんの希望を詰めて上京。以来、田舎者の私が巨大な都会に押し流されながらも、この地に根をおろしました。家庭を持ち、子育ても終り、多くの若人も育てて、今なお、胸を張って生きて行けるのは、後ろ盾に、おふくろの住む郷土〝鮫川村〟があるからだと思う。

このたび、村おこしの一環としての東京鮫川会が発足し、400人もの同郷人ががんばっていることを知り、大変心強く感じています。また、回を重ねるたびに親交ができ、次回が待ち遠しくなってきた。

これからも、鮫川会を通して郷土鮫川をますます発展させるために、皆さまと共に協力できたらと思っています。〝村おこしの地酒「やまぶき」をお屠蘇にして乾杯。

藤正幸（正）○國井亮（康典）○本郷美那子（公市）○関根美奈子（信一）○関根澄江（善徳）○関根佳世（市男）○大竹幸恵（徹）○本郷睦（良勝）○生田目真由美（邦一）○大竹裕美（卯一）○関根瑠美（芳一）

◆鮫川小学校　31名

○湯坐晃（好郎）○岡部陽太（源）○松崎義文（文男）○小林大介（栄）○鈴木教史（和則）○芳賀義樹（義文）○鈴木脩也（芳保）○溝井賢一（昭次）○生田目洋司（広美）○芳賀博幸（聡）○芳賀雅（芳重）○圓井勉（利一）○金澤智恵（満）○藤田深里（進）○岡部麻美（英夫）○宗田和恵（雅之）○三瓶ゆかり（稔）○芳賀亜希子（文男）○岡部千鶴（憲司）○湯坐香織（正）○藤元有里（健次郎）○鈴木明子（治男）○圓井恵美（七蔵）○降矢翔子（桝美）○大橋里美（邦次）○吉田貴子（光隆）○矢吹瑠美（孝二）○田子香織（政一）○中川西望（安男）○中川西幸江（良男）○圓谷祥子（實）

＊



▶青生野小学校に贈られた賞状と副賞

＊

青生野小学校に
全国へき地教育研究賞

十月十三日静岡市民文化会館で行われた全国へき地教育研究連盟秋季定期総会の席で、本村の青生野小学校に第十二回へき地教育研究賞学校賞が贈られました。

この賞は、東京馬場先門ライオンズクラブと全国へき地教育研究会が連携し、全国のへき地・小規模・複式学校における教育研究が優秀な学校または、教育団体に贈られる賞です。

青生野小学校は、「自然を調べる能力・態度を育てる理科学習―直接活動を通して―」のテーマのもとに、学校経営の改善、学習指導計画、指導方法の具体的実践を述べ、理論と実践の統一を図り、子どもたちの変容した姿を具体的に表した研究をしました。

これらの内容が高く評価され、東北地方からただ一校の受賞となったものです。

文芸



俳句

新宿　斉須　信子
編みはじむ毛糸なじまぬ指の先

上高坂　蚯切
老い歳々せいいっぱいに書く賀状

道少田　山本五十鈴
綿虫をたちまち空に見失なう

宿ノ入　田中　義明
初雪のすっぽり包む星の景

道少田　山本　朗史
竜神のとぶときさわぐ雪の空

鮫川高校　沢　草二
学なれり新聞小僧のかじかむ掌

反田　小山田清哲
農政へ怒りの案山子ねり歩く

横座　矢吹　茂
みちのくの畦の短く蝗跳ぶ

大塩　矢吹　呂孝
大根の月の夜干しの影並ぶ

押野　山本　恵子
冴えかえる夜道を急ぐ頬尖る

鮫川高校　松崎夏枝
菊人形悲しきことを色に染め

鮫川高校　芳賀祥子
花嫁は父の心の白ぼたん

短歌

新宿　杉山　忠男
新年の祈念式典告ぐ太鼓八幡の森透きて高鳴る

名下　須藤美代子
畜獣の供養の塔の馬の顔彫られてやさし雪降りかかる

青生野　吉成　タカ
龍年を迎へ賜わる年賀状繰りつ新たな親しみの湧く

越虫星　武
金婚式果たし新年迎へつゝ、金剛石婚ひそかに望む

折戸　阿久津ミツ
寒入りて水の冷たさ耐えながら隠居しおれば朝の米とぐ

関口　藤田　マサ
炉を囲み家族そろへて笑み合いり学級通信に載る孫の日記を

酒垂　石井　カヤ
亡き母の三回忌に姉妹集いきて杳き想い出語りて過ごす

遠ケ竜　須藤　幸子
落葉道じゅうたんのごとつめるなか素足になりて踏みしめてみたし

棚橋　関根　一好
歳重ぬ初日に向い目出度きか寂しと言うや雪烟りたつ

広畑　岡部ヒサ子
百両の紅白の鉢を並べ置き心新たに正月迎う

遠ケ竜　中川西好幸
出稼ぎより帰りしものか久々に山の一つ家灯のともりたり

巡ケ作　鈴木　米子
今年またわがうちに潜む怠け癖なおせぬままに終らんとする



農委だより

構造政策推進始まる

鮫川村がモデル市町村に指定

昭和六十二年から六十三年度の二年、県の構造政策推進指針に基づく、構造改善を実施するモデル市町村として、県内で七市町村が指定され、鮫川村もその一つに指定されました。

構造政策推進指針は、農業及び農村を取り巻く情勢を見極めて、農業、農村の健全な発展を図るために策定されました。

健全で魅力ある農業、農村を築くためには重要な課題がいくつかあります。まず、施設利用型農業は高い生産性を実現していますが、稲作をはじめとする土地利用型農業は、経営規模が零細で、耕地が分散しているなどの問題があり、この体質を改善する必要があります。さらに、兼業農家が増えているため、農業生産の担い手育成確保という課題があります。

これらの課題には、地域ぐるみで対応することが大切であります。農業経営の規模拡大と効率的な農業経営により、中核農家の育成など具体的な目標や重点的な方策を定め、これを実践するのが構造政策の推進であります。

構造政策の推進方向

一、農業経営の規模拡大
- 中核農家等に農地の利用権を集積する事業の推進
- 地域農業の組織化とその活動により、農地の流動化、農作業受委託の推進

二、担い手の育成確保
- 農業後継者等若い農業者の育成

三、農作業の効率化
- 地域農業者の話し合いにより、生産組織の育成
- 機械・施設の共同利用、農地の集団化、作付地の団地化等の推進

四、地力の維持増進
- 農産物の安定生産と品質の向上

五、農用地の有効利用
- 優良農用地の確保、不作付地、荒し作り地等の解消

六、農地基盤整備の促進
- 農地基盤の整備と開発

七、農業経営の改善
- 需用の変動や技術革新に対応できる農業経営への改善

年頭のごあいさつ



鮫川村農業委員会
会長　国井嘉康

あけましておめでとうございます。昭和六十三年の新春を迎え、皆々様のご多幸とますますのご繁栄を心からお祈り申し上げます。

昨年を返りみますと、米価の引き下げ、こんにゃく価格の暴落、また昨年からスタートした水田農業確立対策の転作、減反増による産米の減収、転作助成補助金の削減等々、農家にとっては予想もしない苦労の多かった年でありました。

しかしながら、農家の皆様のご理解あるご協力により、厳しい減反配分にも耐え、前期対策の初年度目標一五七ヘクタールを越える良い成績で達成されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

水田転作は、我々一農家だけの問題でなく、村の今後の諸施策と振興に大いに役立つよう水田を多用途に高度に使わなければならないことは、皆様ご承知のとおりであります。今年も引き続きこれらの対策に対応し、減反等に協力することになります。

逐年きびしくなる農業情勢のなかで、私達農業委員の使命感を更に深め、全委員が切磋琢磨しつつ明日の営農確立に邁進する所存であります。

さいわいにして昨年は天候に恵まれ、平年作以上の作柄となり、減反増による減収も幾分の助けとなったことは嬉しいかぎりです。

昭和六十三年は昨年を更に上廻る満作を祈りつつ、健康で希望に充ちた年でありますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。

農業委員選挙人名簿登載申請書は忘れずに

農業委員会では、毎年一月一日現在で農業委員会の選挙人名簿を作成します。

今年も、名簿登載申請書の配布、回収を、各区長さんを通じ各組長さんにお願いしました。選挙資格のある農家の方々は、忘れずに名簿登載申請書に記入してください。

◆選挙資格

鮫川村に住所があり、十アール以上の農地を年間約六十日以上にわたって耕作に従事している、昭和四十三年四月一日以前に生まれた方

◆提出期限

一月八日までに、組長さんを通じ農業委員会へ提出してください。

公民館だより

第20回 社会学級閉級

藤田ヒデさんら22名に皆勤賞

社会学級第八回講座と閉級式は、十二月十五日中央教室と富田教室、十二月十六日渡瀬教室と青生野教室、十二月十七日西野教室と西山教室がそれぞれの会場で開催されました。

講座の内容は映画鑑賞で、三世代同居をテーマとした「おばあちゃんと一緒」でした。この映画は東白川フイルムライブラリー所有の社会教育用で、一般貸し出しているものです。内容は各世代の物の考え方・生活内容の違いから、同居のむづかしさを語りかけ、それを克服するにはお互いに理解し合い、家族の温かさや生きがいを見い出していくにはどうしたらよいか等、日常生活で考えさせられる場面が多くあり、各会場とも鑑賞後感動を得ました。

映画鑑賞後、閉級式を行い百二十三名の方に修了証、二十二名の方に皆勤賞、四十六名の方に精勤賞が公民館長から手渡され、一年間の課程を修了しました。

閉級式後、忘年会を行い一年間の反省をしながら懇親を深めました。

なお、皆勤賞及び精勤賞を受けた方々は次のとおりです。



▶中央教室の閉級式

皆勤賞

〔西野教室〕藤田ヒデ、増子ヨシ、増子義続、矢吹喜一、佐藤竜雄、田子フジ、舟木ヨシイ

〔西山教室〕関根ツル、阿久津光翁、矢吹茂

〔中央教室〕生田目タマ、佐藤千代治、金沢チヨ

〔富田教室〕石井光男、松本ミノ

〔渡瀬教室〕芳賀登、芳賀忠治、近藤シゲ、蛭田道郎、蛭田シゲ

〔青生野教室〕石井春吉、大竹保

精勤賞

〔西野教室〕須藤栄恭、藤田敏、薄葉トリ、緑川ミネ、鈴木孝市、鈴木正利、関根稔、江田清、鈴木啓太郎、舟木三郎、舟木ヨシ

〔西山教室〕関根トハ、関根銀治、関根キミエ、関根儀光、関根初江、藤田ミヨ、山本キヨノ、我妻与吉、関根光雄、阿久津ミツ

〔中央教室〕矢内かほる、高原三二、金沢ヨシ、佐藤キクイ、佐久間スミ

〔富田教室〕青戸ミ子、坂本スミ、青戸テル、鈴木幸夫、大平太平、船木イノ、生田目幸一

〔渡瀬教室〕寺島正二、寺島ハツノ、芳賀高、遠藤忠助、中野西シゲヨ、蛭田マサミ、蛭田ミツイ、芳賀要

〔青生野教室〕棚井イツ、鈴木清司、森田俊策、堀川トミ、大竹ヨシ子

主催事業案内

ふるさと少年教室

一、期日　一月六日（水）～七日（木）、一泊二日

二、場所　国立那須甲子少年自然の家

三、内容　スキーハイキングと創作活動

成人式

一、期日　一月十五日(金)

二、時間　午前十時～正午

三、場所　山村開発センター

四、内容　式典と講演会

婦人講座

（開催地区、期日、時間、場所、内容、講師）

◎西野地区　一月十七日（日）、午前十時～正午、西野生活改善センター、講話と座談会（食事と健康）、福島大学経済学部・白河医師会看護学院講師宍戸初子先生

◎西山地区　一月十七日（日）、午後一時三十分～午後三時三十分、西山区集落センター、講話と座談会（食事と健康）、福島大学経済学部・白河医師会看護学院講師宍戸初子先生



▶12月12日富田地区で開催された婦人講座

年金手帳は大切にしましょう

年金手帳（国民年金手帳）は、初めて被保険者（共済組合員は除く）になったときに交付されます。年金手帳に記載されている記号番号は、国民年金への加入記録などを管理するためのものであり、一生を通じて変わらないものですから、年金手帳は大切に保管してください。

なお、次のような場合は、住民課年金係にお問い合せください。①年金手帳を二冊以上持っているとき、②年金手帳をなくしたとき、③氏名が変ったとき

健康保険と厚生年金保険

3～4人の法人事業所は加入が義務づけられました

これまでは、従業員が五人に満たない事業所は、希望するところだけが健康保険と厚生年金保険に加入することになっていましたが、法令の改正により「昭和六十二年四月一日からは従業員が三人、四人の法人の事業所」はすべて加入することが義務づけられました。

詳しくは、郡山社会保険事務所（☎〇二四九－三二－三四三四）へお問い合せのうえ手続きをしてください。

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○寅卯平　舟木利次様
亡父（藤一様）の遺志により一〇〇、〇〇〇円

○石井草字関ノ上
中川西久様
亡父（亀吉様）の遺志により　二〇、〇〇〇円

○広畑　矢吹義照様
亡父（求様）の遺志により一〇〇、〇〇〇円

○鮫川村商工会婦人部（部長宗田ハルノ様）
第四〇回文化祭バザー益金として五、〇〇〇円

○鮫川ライオンズクラブ（会長中川西好幸様）
第四〇回文化祭バザー益金として五〇、〇〇〇円

○鮫川村婦人会（会長宗田セキ様）
第四〇回文化祭バザー益金として二一、七六五円

○宿ノ入　石田　穣様
亡父（卯子八様）の遺志により　一、〇〇〇、〇〇〇円

○遠ケ竜　佐藤新市様
つり銭蓄積として（一円玉）一、二九三円

おめでた

十一月
蕨ノ草　阿久津沙山里　父阿久津正
伊柳澤　三瓶隆幸　父三瓶正志

十二月
押野　水戸香里　父水戸道夫
青生野　大森直樹　父大森敏雄
本坂　藤田舞　父藤田甲子勇
大竹　寺島広晶　父寺島広実
田尻　高久由香　父高久義男

おくやみ

十二月　歳　世帯主

寅卯平　舟木藤一74　舟木利次
宿ノ入　石田卯子八84　石田末子
廣畑　矢吹　求79　矢吹義照
関ノ上　中川西　亀吉85　中川西　久

心配ごと相談
1月20日（水）
午前10時～午後2時
山村開発センター

1月10日は「110番の日」です

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	当番医院 塙町	当番医院 石川町
1月10日(日)	薄葉	—	務川
15日(金)	大木	中島	山本
17日(日)	中央病院	車田	—
24日(日)	和田	根本	矢内・大野(診)
31日(日)	阿部	厚生病院	鹿岡
2月7日(日)	藤田	—	原
11日(木)	勝田	石川	矢吹

ゴミの収集日

収集コース	種別	1月	2月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	4.7.11.14.18 21.25.28	1.4.8.15.18 22.25.29
	不燃物	8.22	5.19
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	4.7.11.14.18 21.25.28	1.4.8.15.18 22.25.29
	不燃物	8.22	5.19
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	7.21	4.18
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	6.20	3.17
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	29	12
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	8.22	5.19

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

◆車検証が変わります

― マークシート方式からOCR方式へ ―

運輸省では、自動車の検査登録の業務を電算システムで行っていますが、昭和63年1月4日から、新しいシステム「手書き文字読み取り方式（OCR方式）」に変更になり、申請書が簡単に書きやすくなります。

また車検証も、カタカナから漢字に変わり読みやすくなります。（運輸省東北運輸局）

今月の納付　国民年金保険　納期限1月25日(月)

納税組長さんにお礼とおねがい

◎　今年の納税は特別徴収分を除き、十二月二十六日に全納税の全村完納を達成して頂きました。

昭和三十二年から継続三十一年の全村完納となりました年末で何かとお忙しい中、ご協力まことにありがとうございました。

厚くお礼申し上げます。

◎　広報さめがわの新年号は、区長さんから届きましたら、すぐに各戸に配布してくださるようお願いします。

昭和六十二年十二月

鮫川村